

今井中通信

教育目標

- ◎ 心身の健康
- ◎ 自他の尊重
- ◎ 生き甲斐の発見

新しい年のスタート

～抱負を持つことの意味～

校長 小林 格

新年明けましておめでとうございます。昨年(しんねん)は本校(ほんこう)の教育活動(きょういくかつどう)に御理解(ごりかい)と御支援(ごしえん)をいただき、誠に(まこと)ありがとうございます。本年(ほんねん)もよろしく(ねが)お願い(ねが)申し上げます。

辰年(たつとし)からバトン(たつどし)を受けた巳年(みどし)がスタート(えと)としました。干支(えと)の一回(ひとまわり)り12年(ねん)前の巳年(みどし)(平成25年・西暦2013年)の出来事(できごと)をみると「2020年(ねん)夏季五輪(かきごりん)・パラリンピック(とうきょうかいさいけつてい)の東京開催決定(とうきょうかいさいけつてい)」「富士山(ふじさん)のユネスコ世界文化遺産(せかいぶんかいざん)への登録(とうろく)」などの出来事(できごと)がありました。当時(たうじ)の人々(ひとびと)がその後(そののち)の世界(せかい)をどのように(どう)予測(よそく)していたか(い)は様々(さまざま)だと思(おも)います。そして、予測(よそく)困難(こんなん)な時代(じだい)を生(い)きる私(わたし)たち(が)簡単(かんたん)に未来(みらい)を描(えが)けないこと(こと)も事実(じじつ)です。しかし、それでも大切(たいせつ)なことは、明(あ)るい未来(みらい)を思(おも)い描(えが)くこと(こと)だと信(しん)じます。

さて、年末(ねんまつ)から年始(ねんし)にかけてよく(よく)かわされる会話(かいわ)に「抱負(ほうふ)」を語(か)つてあります。あらためて「抱負(ほうふ)」と「目標(もくひょう)」の意味(いみ)を調(しら)べてみると、そこには内容(ないよう)に違(ちが)いがあること(こと)がわ(わ)かります。目標(もくひょう)はめ(め)あて・目印(めじるし)とあり、自分(じぶん)が目指(めざ)す到達(とうたつ)点(てん)ととらえ(と)ることができ(でき)ます。それ(それ)に対(たい)して抱負(ほうふ)は、心(こころ)中(ちゆう)に抱(か)く考(かん)え・計(けい)画(かく)で、目標(もくひょう)を達(たっ)成(せい)するま(ま)での過(か)程(てい)も含(か)まれます。抱負(ほうふ)の「負(ふ)」は「請(こ)うけ負(お)う」など(など)の「負(お)う」という(いう)意味(いみ)もあ(あ)り、心(こころ)に抱(か)いた決(けつ)意(い)を負(お)っているという(いう)意味(いみ)が含(か)まれるよう(よう)です。抱負(ほうふ)とは、目標(もくひょう)に向(む)けた過(か)程(てい)を大(たい)切(せつ)にして、具(ぐ)体(たい)的(てき)な行(こう)動(どう)を考(かん)え(え)るこ(こ)とが必(ひつ)要(よう)な(な)ので(ので)す。目(め)指(じ)すゴ(ご)ール(る)に向(む)か(か)つて行(こう)動(どう)し、進(すす)み具(ぐ)合(がい)を振(ふ)り返(か)るこ(こ)とで、自(じ)分(ぶん)の成(せい)長(ちやう)を後(あと)押(お)しするこ(こ)とがで(でき)るで(で)し(し)ょう。抱(ほう)負(ふ)を(を)持(も)つこ(こ)と、目(もく)標(ひょう)に向(む)か(か)つて計(けい)画(かく)を立(た)てるこ(こ)とこそ(こそ)、や(や)はり新(あ)たら(らし)い年(とし)の星(せい)星(せい)のスタート(はつたう)に必(ひつ)要(よう)な(な)こ(こ)とだ(だ)とあら(あら)ため(め)て感(かん)じま(ま)した。

ここで、冬季休業前(とうきゅうぎゅうぎょうまえ)の全校集会(ぜんこうしゅうかい)で伝(つた)えた内(ない)容(よう)の部(い)分(ぶん)を載(の)せたい(たい)と思(おも)います。

◆中学生(ちゅうがくせい)の皆(みな)さん(さん)は本(ほん)当(とう)に「ま(ま)だま(ま)だこ(こ)れ(れ)か(か)ら」で(で)す。「良(よ)い意(い)味(み)でま(ま)だま(ま)だこ(こ)れ(れ)か(か)ら」で(で)す。

◆失(しつ)敗(ぱい)を恐(おそ)れず(ず)に、同(おな)じこ(こ)とを何(なん)度(ど)も繰(か)り返(かえ)すこ(こ)とをよ(よ)しと(と)して、「場(ば)数(すう)を踏(ふ)み」「経(けい)験(けん)値(ち)を高(たか)めて」自(じ)分(ぶん)の成(せい)長(ちやう)につな(つ)な(な)げ(げ)てほ(ほ)しいで(で)す。

◆2024年(ねん)はあ(あ)とわ(わ)ずか(か)と(と)な(な)り(り)ま(ま)した(た)が、3年(ねん)生(せい)は来(らい)年(ねん)3月(がつ)ま(ま)で、2年(ねん)生(せい)は再(ねん)来(らい)年(ねん)の3月(がつ)ま(ま)で、1年(ねん)生(せい)はさ(さ)ら(ら)にそ(そ)の次(つぎ)の年(とし)の3月(がつ)ま(ま)で今(いま)井(い)中(ちゆう)学(がく)校(こう)で(で)の時(じ)間(かん)が残(のこ)さ(さ)れて(て)いま(いま)す。今(こ)年(とし)1年(ねん)間(かん)を振(ふ)り返(か)り、ど(ど)んなこ(こ)とでもよ(よ)いので(ので)、自(じ)分(ぶん)はあ(あ)とど(ど)れ(れ)だ(だ)け「場(ば)数(すう)を踏(ふ)めるか(か)」「経(けい)験(けん)値(ち)を高(たか)め(め)ら(ら)れるか(か)」を考(かん)えて(て)み(み)て(て)くだ(くだ)さい。

2025年(ねん)がスタート(はつたう)しま(ま)した(た)。今(いま)井(い)中(ちゆう)学(がく)校(こう)の全(ぜん)生(せい)徒(と)が自(じ)分(ぶん)の心(こころ)に抱(ほう)負(ふ)を(を)持(も)ち、明(あ)るい未(み)来(らい)に向(む)けて、確(かく)実(じつ)な一(いっ)歩(ぽ)を踏(ふ)みだ(だ)して(て)く(く)れ(れ)るこ(こ)とを願(ねが)います。